



PORSCHE



# ジュネーブモーターショー 2018のポルシェ

プレスキット

# 目次

<b>複合燃費と排出量</b>	<b>3</b>
-----------------	----------

ジュネーブモーターショー2018のポルシェ

<b>未来と現在：2台の高性能ドライブコンセプトの世界プレミア</b>	<b>4</b>
-------------------------------------	----------

ポルシェがクロスオーバーユーティリティビークル(CUV)のコンセプトスタディモデルをワールドプレミア

<b>ポルシェ ミッションEクロスツーリスモ：アクティブなライフスタイルのための電気ハイパーフォーマー</b>	<b>6</b>
---	----------

自然吸気エンジン搭載の最もパワフルな公道仕様の911の世界プレミア

<b>モータースポーツへの明確な照準：ニューポルシェ911 GT3 RS</b>	<b>11</b>
--	-----------

---

## 複合燃費と排出量

**911 GT3 RS:**燃料消費量(市街地)19.2リッター/100 km、(郊外)9.0リッター/100 km、  
(複合)12.8リッター/100 km、CO<sub>2</sub>排出量 291 g/km

ジュネーブモーターショー2018のポルシェ

## 未来と現在：2台の高性能ドライブコンセプトのワールドプレミア

ジュネーブモーターショー2018の展示ハイライトとして公開されるミッションEクロスツーリスモは、ポルシェによる華麗なスタディモデルで、E-モビリティの近未来を垣間見せます。しかし、現在のモビリティもそれに劣らず魅力的です。最もラジカルな高性能スポーツカーであるニュー911 GT3 RSが、本日、世界初公開されます。

### ミッションEクロスツーリスモ：CUVの電撃的スタディモデル

ポルシェ初のクロスオーバーユーティリティビークル(CUV)となるミッションEクロスツーリスモは、エレクトリックスポーツカー、ミッションEのコンセプトに基づきます。このモデルは、ポルシェ特有のスポーツカーデザインとオフロード性能を統合することによって、エレクトリックドライブを含む多数のコンセプトを1台の車に結びつけます。ミッションEクロスツーリスモは、マウテンバイク、サーフィン、あるいはウインタースポーツなどの冒険心にあふれたレジャーに適しているのと全く同じく、日常走行にも適しています。このモデルの装備は同時に高品質かつ多用途でもあります。ポルシェによるE-モビリティは、ミッションEクロスツーリスモにおいてもまた高い性能を誇ります。最高出力440kW(600PS)を発生し、500kmを超える航続距離、そしてわずか15分の充電で400kmの走行が可能です。このCUVモデルは、ポルシェの全てのコンセプトカーと同様に、ミッションEの派生能力を実証します。

### モータースポーツへの明確な焦点：520PS自然給気エンジンを搭載したニュー911 GT3 RS

ポルシェにとってのジュネーブモーターショーは、伝統的にピットレーンの役割を果たしており、常にここから新しい高性能スポーツカーがスタートラインに向かって進みます。これは2018年にも受け継がれ、ポルシェは、自然吸気エンジンを搭載した最もパワフルな公道仕様のサーキットスポーツカー、911 GT3 RSによってをデビューさせます。総排気量4リッターの水平対向6気筒エンジンは最高出力383kW(520PS)を発生し、最高回転数は9,000rpmにおよびます。リアアクスルステアリングを備えたシャシーも妥協のない精度にチューニングされており、ニューGTモデルの心臓部であるエンジン同様に

モータースポーツに直接由来します。広範な回転域で得られる最大トルク、ダウンフォースを最適化する軽量ボディ、そして卓越した横方向のダイナミクスを提供するニュー911 GT3 RSは、ファステストラップを達成するために理想的な車です。

## スイス市場：顧客は2017年にスポーツモデルへの好みを継続

ポルシェ スイスAGとそのロートクロイツ本社によるスイス国内の昨年の販売台数は3,621台でした。スイスでは、特にトップエンドのポルシェ モデルへの需要が高く、マカン GTSが最も人気を集めたポルシェ モデルでした。このアルプス地方では、発売以来ポルシェ マカンが最も成功を収めており2017年の販売台数は1,516台でした。スポーツカーについても高性能なGTSモデルが人気を博しており、911カレラ4 GTSクーペとカブリオレ、911 GT3などが顧客を魅了しています。グランツーリスモモデルについては性能志向のハイブリッドテクノロジーが好調です。販売されたパナメーラの35%がプラグインハイブリッドモデルでした。

70年前、まだ新興企業だったポルシェは、7月初めのスイスグランプリの開催直前に最初のポルシェモデルを発表します。それが、1947年から1948年にかけてフェリー・ポルシェが初代タイプ356として製造したミッドシップエンジンスポーツカーの356-001でした。この最初のポルシェ プロトタイプと、それに続く5台の市販スポーツカーがスイスに向かいました。そして1年後のジュネーブモーターショーにおいて、このブランドは自動車メーカーとして初めて姿を現しました。

ポルシェがクロスオーバーユーティリティビークル(CUV)のコンセプトスタディモデルをワールドプレミア

## ポルシェ ミッションEクロスツーリスモ：アクティブなライフスタイルのためのエレクトリックハイパーカー

ポルシェがジュネーブモーターショーで公開するミッションEクロスツーリスモは、未来への先駆けとなる電気駆動クロスオーバーユーティリティビークル(CUV)のコンセプトスタディモデルです。このオールラウンダーは、旅行、スポーツ、あるいはその他のアウトドア活動に余暇を費やし、アクティブなライフスタイルを好む人々をターゲットにしています。4輪駆動によってスキー場までの運転も容易です。一方、フレキシブルなインテリアは、あらゆる種類のスポーツ用具を積み込むためのたっぷりとしたスペースを備えており、最新のマウントシステムによってサーフボードやポルシェ e-bikeの輸送も簡単です。

この4ドア4シーターのデザインは、目立つオフロードエレメントはもちろんのこと、タッチスクリーンと視線追跡装置を備えた新しいディスプレイ&制御コンセプトが気持ちを高ぶらせます。全長4.95mのコンセプトカーは、800Vの急速充電ネットワークに対応しており、インダクション、充電ドック、あるいはポルシェ ホームエネルギー管理システムによる充電も可能です。公道対応が万全なミッションEクロスツーリスモは、2015年にフランクフルトモーターショーで初公開されたスタディモデル、ミッションEの派生モデルです。

### デザイン：紛れもないポルシェのDNA

パワフルに湾曲するフェンダーの間で低く構えるフロントフード。ミッションEクロスツーリスモのフロントは、一瞥しただけでスポーツカーのアイコンであるポルシェ911とのつながりが明らかです。「エアカーテン」と呼ばれるフロントの垂直のエアインテークは、デザインの目立つ特徴です。LEDマトリックスヘッドライトも、スタイリングのハイライトとなっています。ポルシェ特有の4灯のデイトタイムランニングライトは細く立体的なガラスのエレメントに進化しています。エアインテークの中に浮かび上がるこれらのライトは、新しい4灯式のインジケータライトとしても機能します。さらに、この車両はポルシェX-Sight高性能ハイビームの恩恵を受けます。オフロードのデザインエレメントには、頑丈なホイールアーチやドアシル、目立つフロントスポイラーとリアエプロン、ロードクリアランスの拡大が含まれます。

シルエットは、ポルシェのデザイナーによって「フライライン」と呼ばれる後方に傾斜するスポーティなルーフラインを特徴とします。この要素はパナメーラ スポーツ ツーリスモのリアにも採用されています。サイドウィンドウのダイナミックなデザインはポルシェ特有のスタイルです。広いフェンダーとフロントホイール後方にエアインテークを備えた立体的なサイドウォールが、全幅1.99mのコンセプトカーのスポーツクロスオーバーの特徴を引き立てます。オフロードルックが目立つサイドスカートと20インチホイール&275/40 R 20タイヤも明確な特徴を付加します。

このスタディモデルは、専用のライトグレーメタリック塗装によって、リアからも一目でポルシェであることがわかります。スポーティなフロースルー・ルーフスポイラーに加えて、お馴染みのフルレングス・ライトストリップも備わります。ホワイトの“PORSCHE”イルミネーションロゴはガラス仕様で、回路のグラフィックが描かれた立体的なカバーの中に埋め込まれています。車両の充電時には“PORSCHE”の“E”の文字が点滅し、回路のグラフィックが点灯して車両のエネルギーフローを視覚的に表現します。フロントウィンドウからテールゲートまで広がる大型のパノラミックルーフは広々とした感覚を生み出します。

## 多用途性：あらゆるモビリティのニーズを装備

ミッションEクロスツーリスモは、クロスユーティリティの特徴を持つ市販型ツーリスモ派生モデルを具現化します。この車は、旅行、日常生活、アドベンチャーいずれにも適した車であり、都市でも郊外でも多用途に使えるパートナーです。スポーツ、あるいはその他のアウトドア活動に余暇を費やし、アクティブなライフスタイルを好む人々をターゲットにしています。乗員は、全高1.42mの4シーターの多用途性を享受することができます。リアの2つの独立シートのバックレストには、スキーなどの長尺物を積み込むために便利なハッチが統合されており、バックレスト本体は折り畳み可能です。ラゲッジコンパートメントは、着脱式調節ベルトを備えたレールシステムによって荷物を迅速かつ安全に収納することができます。ミッションEクロスツーリスモの乗員は、高性能な電気駆動システムを装備したポルシェ電動アシスト自転車のポルシェe-bikeを使用して、車から降りても2輪によるモビリティを楽しむことが可能です。このモビリティによってポルシェの乗員は自転車でレジャーを楽しみながらポルシェのデザイン、技術、および性能を満喫することができるのです。

## インテリア：目に見える軽量設計

インテリアは、従来のポルシェ エレメントを完全に一新してデジタル時代へと移行します。たとえば、メータパネルは、車幅を強調するウイング型の上下セクションで構成されています。ダッシュボードは、ドライバーと助手席乗員のための超ワイドディスプレイによる水平レイアウトを備えます。ドライバー側に湾

曲・傾斜する独立したメータ類は、丸形3連メータで構成されておりTFTディスプレイにデジタル表示されます。フロントシート間のセンターコンソールはダッシュボードに向かって上昇線を描きます。センターコンソールの間接照明は、アンビエントライトとともに独創的な雰囲気包みます。

インテリアのデザインエレメントには、ダッシュボードや、“PORSCHE”イルミネーションロゴを冠したレースタイプのスポーツシートなど、可視化された軽量設計も含まれます。ドアパネルは、表面が構造化された斬新な立体エレメントを備えます。エアベントやウインドウレギュレーターモジュールの周囲に施されたノルディックブルーのアルマイト製トリムは、アニリンレザーによるツートンインテリア(ブラック/ライトグレー)にカラフルなコントラストを加えます。

## パワートレイン：600PSを超えるスポーティなE-パフォーマンス

2つの同期モーターを搭載するミッションEクロスツーリスモは、600 PS(440kW)を超えるシステム最高出力を発生し、0-100km/h加速タイムは3.5秒未満、0-200km/h加速タイムは12秒以下です。この性能に、電気自動車では前例のない連続的な出力レベルが加わり、性能を損なうことなく連続して何回も加速を開始することができます。ポルシェトルクベクトリングを備えたデマンド制御4WDは、トルクを自動的に各ホイールに分配してパワーを路面に伝えます。

## シャシー：アダプティブエアサスペンションによる快適性と俊敏性

4輪操舵はこの車両のすぐれた俊敏性と安定性に寄与し、アダプティブエアサスペンションは50mmまで車高を上げることが可能です。ポルシェダイナミックシャシーコントロールシステム(PDCC)はコーナリング時のロールを抑え、起伏の激しい地形で横方向の安定性を改善します。

## ディスプレイと制御コンセプト：ユニークなユーザー体験

ミッションEクロスツーリスモのハイライトは、新しいディスプレイ&制御コンセプトです。ドライバーの視界へ最適に配置されたヘッドアップディスプレイの直感的な操作と情報は、ドライバーの気を逸らすことはありません。さらに、新しいコネクティビティソリューションによって、車両はデジタルなライフスタイルに完璧に統合されます。その結果、非常にユニークなユーザー体験が得られます。



最も重要なディスプレイと制御オプションには以下が含まれます。

- 視線追跡によるドライバーディスプレイ:仮想の丸形3連メータで構成されるメータ類は、Porsche Connect、パフォーマンス、ドライブ、エネルギー、およびスポーツクロノのカテゴリーに割り当てられています。視線追跡システムが、ルームミラーのカメラを使用してドライバーが見ているメータを認識し、ドライバーが関心を寄せるディスプレイを最前面に移動しながら視線を逃れた他のディスプレイをバックグラウンドに縮小表示します。ディスプレイは、ステアリングホイールのスマートタッチコントロールを使用して操作します。
- パッセンジャーディスプレイ:この画面は助手席側の横いっぱい広がります。助手席乗員は、視線追跡とタッチテクノロジーによって、メディア、ナビゲーション、クライメートコントロール、連絡先などの機能にアクセスし、各種のアプリを操作することができます。
- センターコンソールのタッチコントロールフィールド:詳細な情報メニューを備えます。
- スモールタッチスクリーン:このスクリーンは、マルチファンクショナル・ウインドウレギュレーターモジュール内(シート調節とシートコンフォート機能用)、およびダッシュボード左右のフィンレス・エアベント内にあります。このタッチスクリーン上を左右にスワイプすると風量などの調節ができます。

「スマートキャビン」アプローチは操作をシンプルにします。車両設定、車内クライメート、およびアンビエントライティングの全てが、乗員の好みと走行条件に応じて自動調整されます。

ドライバーは、車両から離れた場所でさまざまな情報にアクセスして設定を調節することもできます。タブレット、スマートフォン、あるいはスマートウォッチで、エアコンシステムからナビゲーションまでの全てのカスタマイズオプションを前もって設定することができます。

## DestinationsApp : パーソナルトラベルアシスタンス

Porsche Connectは20を超えるデジタルサービスとアプリを提供しています。ミッションEクロスツーリスモのDestinationsAppは、デジタルプラットフォームが近い将来にどのようなメリットを追加するかを示します。このアプリを使用すると、週末の旅行をスマートフォン上のわずか数段階の操作で迅速かつ容易に計画することができます。このアプリは、感動を与える旅行の目的地を提案し、予約、ルート計画、

レストラン、およびスポーツ用具の手配なども簡単に行うことができます。DestinationsAppによって、ミッションEクロスツーリスモのシャシーを選択したルートに合わせて調整し、旅行にふさわしい音楽、クライメートコントロール、およびアンビエントライティングを選択することもできます。

## 充電：高速かつ簡単

車両の800Vのアーキテクチャにより、リチウムイオンバッテリーを充電するとわずか15分で約400kmの航続距離(NEDCに基づく)が得られます。このコンセプトカーは移動中と自宅の両方でフレキシブルな充電が可能で、イオニティ合弁事業によって欧州の道路に設置される急速充電ネットワークに対応しています。ミッションEクロスツーリスモは、仕事場ではインダクションテクノロジーによって、自宅では充電ドックやポルシェ ホームエネルギー管理システムを使用してバッテリーを充電することができます。ポルシェ ホームエネルギー管理システムは、自宅の太陽光発電と組み合わせると太陽エネルギーを使用して充電することも可能です。

---

自然吸気エンジン搭載の最もパワフルな公道仕様の911のワールドプレミア

## モータースポーツへの明確な照準：ニューポルシェ 911 GT3 RS

ポルシェAGのモータースポーツ部門は、ジュネーブモーターショーにおいて、ヴァイザッハ生まれの最新モデルとして、モータースポーツ向けのシャシーを採用し、最高出力383 kW(520 PS)の4リッター高回転自然吸気エンジンを搭載した911 GT3 RSを発表します。この新しいハイパフォーマンススポーツカーは、911 GT3をベースにして、さらに改良を重ねたもので、最大限のダイナミクスと精度が得られるようにリファインされたリアアクスルステアリングを含むランニングギアのセットアップと、性能が向上したエンジンとが組み合わさっています。911 GT3 RSの0-100 km/h加速は3.2秒で、最高速度は312 km/hに達します。911 GT3と911 GT2 RSの導入に続く、この最新リリースにより、ポルシェは公道走行が可能な3つ目のGTスポーツカーを年内に発表できることになりました。

### エアロダイナミクスとレーシング仕様のインテリア

クラシックな固定式リアスポイラーを備え、ワイドで重量が最適化されたボディのデザインは、エアロダイナミクスに基づいて決定されています。外観と同様に内装もレーシングカー然としており、ハイレベルなドライビングダイナミクスを踏まえ、カーボン製フルバケットシートがしっかりとしたサイドサポートを提供します。収納ネットとオープニンググループ付きの軽量ドアパネル、遮音材の縮小、新しい軽量リアリッドが、素材の選択の一貫性をいっそう強調しています。

### 520 PSの最もパワフルな自然吸気エンジン

ニュー911 GT3 RSに搭載されるポルシェの4リッター6気筒自然吸気エンジンは、スポーツカーを新たな限界へと導きます。このフラットエンジンは、先代モデルや911 GT3のエンジンよりも最高出力が15 kW(20 PS)アップしています。最高9,000 rpmに達する回転域との組み合わせは、純粋なスポーツエンジンとしては理想的な選択となっています。特別にチューニングされた7速PDKと相まって、このハイパフォーマンスエンジンは抜群の走行性能を確保します。

## モータースポーツ生まれのシャシーとクラブスポーツパッケージ

モータースポーツに直接由来するテクノロジーにより、シャシーは比類ないドライビングダイナミクスを発揮します。全てのアームのボールジョイントは、従来の弾性運動学に基づくベアリングよりもさらに優れた精度を可能にします。フロントの20インチ軽量ホイールと新開発の265/35スポーツタイヤは俊敏性とステアリングの挙動を高め、リアの21インチホイールと325/30タイヤはトラクションを向上させます。

全ての現行のGTスポーツカーと同様、911 GT3 RSでも無償オプションとしてクラブスポーツパッケージが用意されています。このパッケージには、ロールオーバーバー、手動式の消火器、バッテリー切断スイッチ用プレパレーション、6点式シートベルトが含まれ、スポーティなドライビングエクスペリエンスをもたらします。

## ヴァイザハパッケージとマグネシウムホイールによるさらなる重量削減

特に野心的なドライバーのために、ポルシェのモータースポーツ部門は、さらなる軽量化のためのヴァイザハパッケージをオプション設定しました。このパッケージでは、シャシー、インテリア、エクステリアの追加のカーボン部品と、オプションのマグネシウムホイールが用意されています。このパッケージの最軽量の構成では、911 GT3 RSの重量は1,430 kgまで低減されます。